2019 年 9 月 30 日

（報告者）NPO 法人 VERSTA　小野瀬　由一

地球環境基金助成

令和元年度 VERSTA ジュサラ椰子 AF 小農普及によるブラジル大西洋沿岸林再生支援事業

共同プロジェクト会議派遣活動報告書

Ⅰ.派遣期間：2019 年 8 月 25 日（日）～9 月 6 日（金）

Ⅱ.派遣者：VERSTA　専務理事　小野瀬　由一

Ⅲ.活動報告：

【活動１】令和元年度ジュサラ椰子 AF 共同プロジェクト会議＆技術交流会報告

A.共同プロジェクト会議

日時：2019 年 8 月 29 日（木）09:30～12:30

場所：サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村植民地第五部会館

出席者：（凡例：☐出席・☑専門家謝金領収書あり出席者）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事	☐小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長	☑長井　邦夫氏
3)VERSTA 名誉顧問	☑山添　源二氏
4)サンパウロ州環境局森林院農業指導員	☐Antonio Abro Mastim do Mello 氏
5)サンパウロ州環境局職員	☑Malta Organo Megro 氏
6)サンパウロ州農務局農業指導員	☐Giovanso M.Nunez Fuagniur 氏
7)サンパウロ州環境警察リベラ川地域署長	☑Mayko Bsobosz Meisollles 氏
8)サンパウロ州環境警察リベラ川地域副署長	☑Borcdito Broncor da Asta Junior 氏
9)サンパウロ州レジストロ市副市長	☑Luis Augusto Vaz de Arruda 氏
10) サンパウロ州レジストロ市農業部長	☑Adriano Hermes de Sousa 氏
11)サンパウロ州レジストロ市農業普及員	☑Rogerio Haruo Sakai 氏
12)サンパウロ州レジストロ市農業普及員	☑Eduarldo Soares Zah 氏
13)サンパウロ州レジストロ市農業普及員	☑Dorcas Florencio Domingos 氏
14)サンパウロ州セテバラス市農業普及員	☐Sidenei Carlos Francs 氏
15)サンパウロ州セテバラス市市長	☐Dean Akves Martina 氏
16)サンパウロ州セテバラス市副市長	☐Clajdio R. Olivaila 氏
17)サンパウロ市エンジニア連合（SEESP）分析官	☑Celso Fenella 氏
18)サンパウロ州立大学パウリスタ校研究員	☐Evandro P. Dias 氏
19)ABJICA 指導員	☐Dorcas F. Domingues 氏
20)Ueutaggua Lunaidalli 農場	☐Arlhua Johannes Baumgaifna 氏

21)サンパウロ州セテバラス市リオプレット村農業リーダー ☑Geraldo F. de Aguiar 氏
22)サンパウロ州レジストロ市 SENAR コンサルタント ☑Mario Terashima 氏
23)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家 ☑Jose Hiroshi Murasawa 氏
24)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家 ☑Joce Rodriges da kunhe 氏
25)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家 ☐Joao Roberto B. Marques 氏
26)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家 ☐Ferkadu Jaliceeiha 氏
27)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Ilinor Fujiko Heiashila 氏
28)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Oarmlo Olo 氏
29)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Fereza Yamamaru 氏
30)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Andore T.Yamamaru 氏
31)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Marleno H.Nishino 氏
32)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Mikiom M.Y.Oka 氏
33)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Jose Katsuji Yamada 氏
34)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Emilio Eiji Hasegawa 氏
35)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村文教組合員 ☐Mari Tiemi Yoshida 氏
36)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家 ☑Kazutoshi Yamamar 氏
37)サンパウロ州レジストロ市農業専門家 ☑Jairo Andilsou de Oliveira 氏
38)サンパウロ州レジストロ市農業専門家 ☑Avrelino Ferreira Cruz Leo 氏
39)サンパウロ州レジストロ市農業指導者 ☑Andlur J.Baumgohra 氏
40)サンパウロ州レジストロ市農業指導者 ☐Suoleiro F. Luz 氏
41)サンパウロ州パリケラス市農業専門家 ☑Lucas Takamori Hideshima 氏
42)サンパウロ州レジストロ市ハッポーザ村農業専門家 ☐Ferkadu Jaliceeiha 氏
43)セテバラス市コルデイロ・デファリス将軍市立中学校教諭 ☑Sandra Reaina B. Carvalho 氏
44)セテバラス市コルデイロ・デファリス将軍市立中学校副校長 ☑Calolena Agarecida Barlgray 氏
45)サンパウロ州カッポンボニート市 Capao Bonito 農協 ☑Carlos Kensuke Kakihara 氏
46)サンパウロ州カッポンボニート市 Capao Bonito 農協 ☑Fulio Cuan Braz do Sato 氏
47)サンパウロ州レジストロ市文教顧問 ☑Kazuoki Fukuzawa 氏
48)サン・カルロス連邦大学 Lagoa 校教授 ☐Fabio Grigoletto 氏
49)サン・カルロス連邦大学 Lagoa 校研究員 ☑Gabriel Carvalho G.Baphsta 氏
50)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校教授 ☑Angela luiz Fagani Crvelliierri 氏
51)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員 ☑Marcia Maria Mendes 氏
52)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員 ☑Josepa Euco Monteiue de Silva 氏
53)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員 ☑Adriel Rodrigues Vaz 氏
54)パラナ州農業専門家 ☐Lulio Cerge Braz de Silro 氏
55)サンパウロ州セテバラス市農業専門家 ☐Caio Stenio Almeida 氏
56)サンパウロ州セテバラス市農業専門家 ☐Alex Ribeiro de Jesus 氏
57)サンパウロ州セテバラス市農協リーダー ☐Gilberto Ohta 氏
58)サンパウロ州セテバラス市農業指導員 ☑Amilson Jaero de Maraes 氏

59)サンパウロ州セテバラス市農業指導員　☑Silveos Baufes da Sauza 氏
60)サンパウロ州セテバラス市農業指導員　☑Grovanna Margheri Nures Joaquim 氏
61)サンパウロ州セテバラス市農業専門家　☐Heagens Rigorowitschs 氏
62)サンパウロ州セテバラス市農業専門家　☐Eduardo G. Albuqurergin 氏
63)サンパウロ州セテバラス市農業専門家　☐Marcelo de Jesus Fukunaga Rosa 氏
64)サンパウロ州セテバラス市農業専門家　☐Fir Rehyas de Cuub 氏
65)[大学名不明]大学生　☐Helga Grigorowitschs 氏

（☐出席：65 名　うち☑領収書あり：33 名）

1. 挨拶

(1)VERSTA ブラジル代表（名誉顧問） 山添　源二氏挨拶

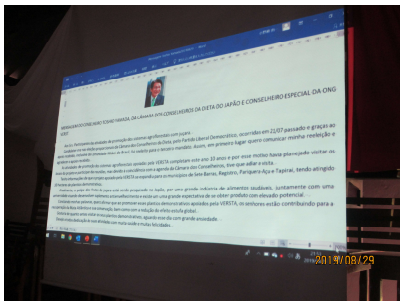
山添氏からは、当 PJ はブラジル・日本の 2 国間国際 PJ としては、過去にない長期支援 PJ となっている。当 PJ では、UNESCO 世界自然遺産認定地ブラジル国大西洋沿岸林原産のブラジル政府絶滅危惧種指定ジュサラ椰子を主樹とした AF により同沿岸林再生を続けたい旨挨拶があった。

(2)VERSTA 特別顧問・参議院議員 山田　俊男氏メッセージ（山添氏ポル語代読）

山田氏からは、VERSTA の支援活動は、皆様のジュサラ椰子 AF モデル圃場の育成が順調に進むことにより、ブラジル国大西洋沿岸林の再生・保全並びに地球全体の温暖化防止にも貢献する。私は、一日も早く、皆様のジュサラ椰子 AF モデル圃場訪問の日が来ることを楽しみにしている旨挨拶があった。

(3)VERSTA 専務理事 小野瀬　由一挨拶

小野瀬からは、当 PJ は 2012 年セテバラス市リオプレット村から始まり、今年で 8 年目となる。皆様の参加と努力により、栽培地はレジストロ市、パレケラス市まで拡がり、AF モデル圃場は今年 10Ha になる。現在、日本の健康健康食品会社がジュサラ椰子果実のアンチエイジング成分臨床試験をしており、今後、ジュサラ椰子果実の高付加価値化を実現したい旨挨拶があった。

P1. VERSTA 名誉顧問 山添源二氏挨拶	P2. VERSTA 特別顧問・参議院議員 山田俊男氏メッセージ（代読）	P3. VERSTA 専務理事 小野瀬由一氏挨拶
		

2. 講演

【講演 1】「2019～2020 ジュサラ椰子 AF 推進計画と 2019 年活動計画」VERSTA 専務理事　小野瀬　由一

小野瀬から、VERSTA によるブラジル国大西洋沿岸林ジュサラ椰子 AF 推進事業の活動経緯と 2019～

2020 ジュサラ椰子 AF 推進計画について説明があった。また、当 PJ は国連 SDGｓ活動の 4 つの目標実現に関係する旨講演があった。

【講演 2】「セテバラス農協とジュサラ椰子果実濃縮事業」セテバラス農協リーダー　Gilberto Ohta 氏

Gilberto 氏から、セテバラス農協の現状、当 PJ におけるジュサラ椰子果実濃縮の位置付けとジュサラ椰子果実濃縮品の利用状況について講演があった。

【講演 3】「セテバラス市リオプレット村とジュサラ椰子 AF プロジェクト」

リオプレット村農業リーダー　Geraldo F. de Aguiar 氏

Geraldo 氏から、リオプレット村におけるジュサラ椰子 AF プロジェクトの現状、エコツーリズム導入への取組み等について講演があった。なお、現在は、奥様 Sandora さんの療養のためリオプレット村を離れているが、モデル圃場は管理者を置いて管理している旨補足があった。

【講演 4-1】「ジュサラ椰子 AF モデル圃場の推進状況」

サンパウロ州 SENAR コンサルタント　Mario Terashima 氏

Mario 氏から、VERSTA ジュサラ椰子 AF モデルの現状として、セテバラス市、レジストロ市、パレケラス市のジュサラ椰子 AF 栽培状況と生育状況について講演があった。

【講演 4-2】「セテバラス市ハッポーザ村ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例報告①」

ハッポーザ村農業専門家　Joce Rodriges da kunhe 氏

Joce 氏から、ハッポーザ村ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例として、同氏モデル圃場の栽培状況と今後の栽培計画について報告があった。

【講演 4-3】「セテバラス市ハッポーザ村ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例報告②」

ハッポーザ村農業専門家　Kazutoshi Yamamar 氏

Kazutoshi 氏から、ハッポーザ村ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例として、同氏モデル圃場の栽培状況と今後の栽培計画について報告があった。

【講演 4-4】「パレケラス市ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例報告」

パレケラス市農業専門家　Lucas Takamori Hideshima 氏

Lucas 氏から、昨年度から導入したパレケラス市ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例として、同氏モデル圃場の栽培状況と今後の栽培計画について報告があった。

【講演 4-5】「レジストロ市ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例報告①」

レジストロ市農業専門家　Avrelino Ferreira Cruz Leo 氏

Avrelino 氏から、昨年度から導入したレジストロ市ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例として、Ume Shimada モデル圃場の栽培状況と今後の栽培計画について報告があった。

【講演 4-6】「レジストロ市ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例報告②」

レジストロ市農業専門家　Jairo Andilsou de Oliveira 氏

Jairo 氏から、昨年度から導入したレジストロ市ジュサラ椰子 AF モデル圃場事例として、同氏モデル圃場の栽培状況と今後の栽培計画について報告があった。

P4. 講演 1:VERSTA 専務理事 小野瀬由一氏	P5. 講演 2:セテバラス農協リーダー　Gilberto Ohta 氏	P6. 講演 3: セテバラス市リオプレット村 Geraldo A. 氏モデル圃場
P7. 講演 4-1:サンパウロ州 SENAR Consultant Mario T. 氏	P8. 講演 4-2: セテバラス市ハッポーザ村 Joce k. 氏モデル圃場	P9. 講演 4-3: セテバラス市ハッポーザ村 Kazuo. Y. 氏モデル圃場
P10. 講演 4-4: パレケラス市 Lucas H. 氏モデル圃場	P11. 講演 4-5: レジストロ市 UME SHIMADA 氏モデル圃場	P12. 講演 4-6:レジストロ市 Jairo O. 氏モデル圃場

B. 技術交流会

１．第１日目技術交流会

日時：2019 年 8 月 28 日（水）08:30～17:30

場所：サンパウロ州パレケラス市・レジストロ市・セテバラス市リオプレット村ジュサラ椰子 AF モデル圃場

出席者：（凡例：□出席・☑専門家謝金領収書あり出席者）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　☑長井　邦夫氏
3)VERSTA 名誉顧問　☑山添　源二氏
4)サンパウロ州環境局森林院農業指導者　☐Antonio Celso Martius Melto 氏
5)サンパウロ州パリケラス市農業専門家　☐Lucas Takamori Hideshima 氏
6)サンパウロ州レジストロ市農業専門家　☑Rubence Takeshi Shimizu 氏
7)サンパウロ州レジストロ市農業専門家　☐Jairo Andilsou de Oliveira 氏
8)サンパウロ州レジストロ市農業専門家　☐Avrelino Ferreira Cruz Leo 氏
9)サンパウロ州セテバラス市リオプレット村農業専門家　☐Joao Casdrma Barbosa 氏
10)サンパウロ州セテバラス市リオプレット村農業専門家 ☐Eroisio M.de Oliveira 氏
11)サンパウロ州セテバラス市リオプレット村農業専門家 ☐Aparecido E. da Silva 氏
12)サンパウロ州セテバラス市リオプレット村農業専門家 ☐Matatias D. Oliveira 氏
13)サンパウロ州セテバラス市リオプレット村農業専門家 ☐Nelson G.Muniz 氏

（☐出席：13 名、うち☑領収書あり：3 名）

【Lucas Takamori Hideshima 氏 AF モデル圃場】

・パリケラス市 Lucas 氏モデル圃場は今年度からジュサラ椰子 AF 栽培を開始した。農地全体の面積は 14Ha で、グアバ、バナナ、観葉植物を栽培している。小鳥が種子を持込んで育った天然ジュサラ椰子が 3 年目になっている。

【Jairo Andilsou de Oliveira 氏 AF モデル圃場】

・レジストロ市 Jairo 氏モデル圃場は今年度からジュサラ椰子 AF 栽培を開始した。モデル圃場の面積は 0.75Ha で、バナナ畑にジュサラ椰子等 AF 栽培を導入した。

【Ume Shimada 氏 AF モデル圃場】

・レジストロ市 Ume Shimada 氏モデル圃場は、今年度からジュサラ椰子 AF 栽培を開始した。ライチ畑にジュサラ椰子 AF 栽培を導入した。モデル圃場は現状２Ha だが、今後、1Ha 程度拡大することは可能である。ライチは１Ha 当り 100 本栽培されており、ジュサラ椰子はライチの周囲に 4 本栽培し１Ha 当り 400 本栽培している。

【Geraldo F. de Aguiar 氏 AF モデル圃場】

・セテバラス市リオプレット村 Geraldo 氏の所有農地 200Ha で、PJ 当初からジュサラ椰子 AF 栽培を導入している。

・当モデル圃場は、AF モデル圃場導入農家の中で栽培管理が最も優れていたが、Geraldo 氏が奥様 Sandora さんの目の療養のため当地を離れたため、栽培管理の遅れが見られ今後が懸念される。

【Joao Casdrma Barbosa 氏 AF モデル圃場】

・セテバラス市リオプレット村 Joao 氏モデル圃場は、山間傾斜を活かしてアラビカ種コーヒー等＋パウ・ブラジル＋ジュサラ椰子 AF 栽培をしており、成育は順調であった。

・AF 栽培コーヒー豆は収穫され、出荷用に天日干しされている。

【Eroisio M.de Oliveira 氏 AF モデル圃場】

・セテバラス市リオプレット村 Eroisio 氏モデル圃場は、果実を中心とした AF 栽培を導入しており、収穫果実は出荷している。農地は、水路に面した湿地帯の他、湿地帯に続く山まで所有していることが分かり、今後の AF 栽培面積拡大が期待できる。

【Nelson G.Muniz 氏 AF モデル圃場】

・セテバラス市リオプレット村 Nelson 氏モデル圃場は、流水地を利用した AF 栽培を導入しており、小規模だが生育は順調で、特にグアバが順調で、出荷している。

P13.Lucas Takamori Hideshima 氏モデル圃場①	P14.Lucas Takamori Hideshima 氏モデル圃場②	P15. Jairo Andilsou de Oliveira 氏モデル圃場①
P16. Jairo Andilsou de Oliveira 氏モデル圃場②	P17.Ume Shimada 氏モデル圃場①	P18.Ume Shimada 氏モデル圃場②
P19.Geraldo F. de Aguiar 氏モデル圃場①	P20.Geraldo F. de Aguiar 氏モデル圃場②	P21.Geraldo F. de Aguiar 氏モデル圃場③

P22. Joao Casdrma Barbosa 氏モデル圃場①	P23. Joao Casdrma Barbosa 氏モデル圃場②	P24. Eroisio M. de Oliveira 氏モデル圃場①
P25. Eroisio M. de Oliveira 氏モデル圃場②	P26. Eroisio M. de Oliveira 氏モデル圃場（山も所有）③	P27. Nelson G. Muniz 氏モデル圃場看板（日没）

2. 第 2 日目技術交流会

日時：2019 年 8 月 29 日（水）13:30～15:30

場所：サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村ジュサラ椰子 AF モデル圃場

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1) VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2) ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　□長井　邦夫氏

3) VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

4) サンパウロ州環境局森林院農業指導者　□Antonio Celso Martius Melto 氏

5) サンパウロ州環境局職員　□Malta Organo Megro 氏

6) サンパウロ州農務局農業指導員　□Giovanso M. Nunez Fuagniur 氏

7) サンパウロ州レジストロ市農業普及員　□Rogerio Haruo Sakai 氏

8) サンパウロ州レジストロ市農業普及員　□Eduarldo Soares Zah 氏

9) サンパウロ州レジストロ市農業普及員　□Dorcas Florencio Domingos 氏

10) サンパウロ州セテバラス市農業普及員　□Sidenei Carlos Francs 氏

11) サンパウロ州セテバラス市副市長　□Clajdio R. Olivaila 氏

12)サンパウロ市エンジニア連合（SEESP）分析官　□Celso Fenella 氏
13)ABJICA 指導員　□Dorcas F. Domingues 氏
14)サンパウロ州セテバラス市リオプレット村農業リーダー　□Geraldo F. de Aguiar 氏
15)サンパウロ州レジストロ市 SENAR コンサルタント　□Mario Terashima 氏
16)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家　□Jose Hiroshi Murasawa 氏
17)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家　□Joce Rodriges da kunhe 氏
18)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家　□Joao Roberto B. Marques 氏
19)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家　□Ferkadu Jaliceeiha 氏
20)サンパウロ州セテバラス市ハッポーザ村農業専門家　□Kazutoshi Yamamar 氏
21)サンパウロ州レジストロ市農業専門家　□Jairo Andilsou de Oliveira 氏
22)サンパウロ州レジストロ市農業専門家　□Avrelino Ferreira Cruz Leo 氏
23)サンパウロ州レジストロ市農業指導者　□Andlur J.Baumgohra 氏
24)サンパウロ州レジストロ市農業指導者　□Suoleiro F. Luz 氏
25)サンパウロ州レジストロ市ハッポーザ村農業専門家　□Ferkadu Jaliceeiha 氏
26)サン・カルロス連邦大学 Lagoa 校教授　□Fabio Grigoletto 氏
27)サン・カルロス連邦大学 Lagoa 校研究員　□Gabriel Carvalho G.Baphsta 氏
28)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校教授　□Angela luiz Fagani Crvelliierri 氏
29)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員　□Marcia Maria Mendes 氏
30)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員　□Josepa Euco Monteiue de Silva 氏
31)サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員　□Adriel Rodrigues Vaz 氏
32)パラナ―州農業専門家　□Lulio Cerge Braz de Silro 氏

（□出席：32 名）

【Kazutoshi Yamamaru 氏 AF モデル圃場】

・セテバラス市ハッポーザ村 Kazutoshi 氏の AF モデル圃場は、茶との組み合わせによるジュサラ椰子等の生育が順調である。

・Kazutoshi 氏の AF モデル圃場では、TV-Band の農業チャンネル Terra-Viva のニュース収録があり、Kazutoshi 氏のほか VERSTA ブラジル代表山添源二氏、VERSTA 専務理事小野瀬由一へのインタビューが行われた。

・VERSTA ジュサラ椰子 AF プロジェクトの Terra-Viva ニュース報道は 8 月 30 日に行われ、全ブラジルに向け放送された。

【Joce Rodriges da kunhe 氏 AF モデル圃場】

・セテバラス市ハッポーザ村 Jose 氏の AF モデル圃場は、山間傾斜地を利用した圃場で、高木との組み合わせによりジュラ椰子等の生育は順調である。

・VERSTA 小野瀬専務理事による記念植樹が行われた。

P28. Kazutoshi Yamamaru 氏モデル圃場	P29. Kazutoshi Yamamaru 氏モデル圃場での TV-Band 収録	P30. Joce R. da kunhe 氏モデル圃場での VERSTA 小野瀬記念植樹

【活動２】ジュサラ椰子 AF モデル圃場の拡大設置とフォローアップ指導報告

◆São João 農場二次林モデル圃場調査報告

日時：2019 年 8 月 30 日（木）15:30～17:30

場所：サンパウロ州タピライ市 São João 農場

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1) VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2) ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　□長井　邦夫氏

3) VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

4) サンパウロ州環境局森林院農業指導者　□Antonio Celso Martius Melto 氏

5) TV-Band 社長主任秘書　□Neusa Yukie Kakinoki 氏

6) TV-Band 社長所有 São João 農場管理会社 Syrus 社責任者□Silvio Ramos 氏

（□出席：6 名）

【São João 農場二次林モデル圃場調査結果】

・São João 農場は TV-Band Saad 社長が所有する農場で、面積は 500Ha あり、牛の放牧飼育と大規模施設園芸によるパプリカ栽培を主体としている。

・São João 農場では、オーガニック肥料のタンク＋ホースによるドリップ方式の肥料散布が行われており、イスラエル等中東の砂漠地帯で行われている液体肥料施肥が導入されたもの。

・管理会社 Syrus 社責任者 Silvio 氏によると、今年 7 月ジュサラ椰子種苗 1,000 本を二次林におけるジュサラ椰子栽培を行ったが、遅霜の影響でほとんど種苗が活着しなかったとの事であった。

・しかし、二次林ジュサラ椰子栽培地を調査すると、種苗栽培作業はアルバイト作業者にさせ、その作業後の確認を行わなかったことが判明した。その結果、作業者はジュサラ椰子栽培用の穴は開けたが、ジュサラ椰子種苗を挿入しなかった事例やジュサラ椰子種苗を挿入したものの土や枯葉の挿入と固めが不十分なものは活着せずに枯れてしまった事例があることが判明した。ただし、ジュサラ椰子種苗は 2 割程度は活着して生育している事を確認できた。

・このため、VERSTA ブラジル側で枯れた分のジュサラ椰子を補植することになった。

P31. São João 農場ミーテイング	P32. São João 農場の牧場と大規模施設園芸一望	P33. São João 農場ジュサラ椰子二次林にて
P34. São João 農場ジュサラ椰子種苗活着状況	P35. São João 農場大規模施設園芸（パプリカ栽培①）	P36. São João 農場大規模施設園芸（パプリカ栽培②）

B. 直接的カウンターパート訪問

１．セテバラス市農協

日時：2019 年 8 月 29 日（水）16:00～16:45

場所：サンパウロ州セテバラス市セテバラス農協

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1) VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2) ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　□長井　邦夫氏

3) VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

4) サンパウロ州環境局森林院農業指導者　□Antonio Celso Martius Melto 氏

5) サンパウロ州セテバラス市農業普及員　□Sidenei Carlos Francs 氏

6) サンパウロ州セテバラス市副市長　□Clajdio R. Olivaila 氏

7) サン・カルロス連邦大学 Lagoa 校教授　□Fabio Grigoletto 氏

8) サン・カルロス連邦大学 Lagoa 校研究員　□Gabriel Carvalho G. Baphsta 氏

9) サン・カルロス連邦大学ソロカバ校教授　□Angela luiz Fagani Crvelliierri 氏

10) サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員　□Marcia Maria Mendes 氏

11) サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員　□Josepa Euco Monteiue de Silva 氏

12) サン・カルロス連邦大学ソロカバ校研究員　□Adriel Rodrigues Vaz 氏

13)パラナ―州農業専門家　　□Lulio Cerge Braz de Silro 氏
14)セテバラス市農協リーダー　　□Gilberto Ohta 氏
15)セテバラス市農協指導者　　□Braun Hasegawa 氏
16)セテバラス市農協指導者　　□Habe Andelson 氏

（□出席：16 名）

【セテバラス農協概要説明】

・Gilberto セテバラス農協リーダから、セテバラス農協について、セテバラス農協は本部のほか 4 支部があり、所属農家数は現在 120 戸程度、農協施設は組合員以外の利用可、農協施設はプップーニャ椰子、ジュサラ椰子の加工が中心、農家の栽培品目は、バナナ、プップーニャ椰子、ジュサラ椰子が中心等概要説明があった。

P37. セテバラス農協での VERSTA 小野瀬自己紹介	P38. セテバラス農協での出席者自己紹介①	P39. セテバラス農協での出席者自己紹介②

2. コルデロ・デファリス将軍市立中学校

日時：2019 年 8 月 30 日（金）9:00～10:00

場所：セテバラス市コルデロ・デファリス将軍市立中学校

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　　□長井　邦夫氏
3)VERSTA 名誉顧問　　□山添　源二氏
4)サンパウロ州環境局森林院農業指導者　　□Antonio Celso Martius Melto 氏
5)セテバラス市教育部長　　□Tania Maria Fudalli Florencio 氏
6)コルデロ・デファリス将軍市立中学校校長　　□Sergio Rufael da Silva 氏
7)コルデロ・デファリス将軍市立中学校副校長　　□Alcileia Aparecida Palea 氏
8)コルデロ・デファリス将軍市立中学校教諭　　□Sandra R.da Cavalho 氏

（□出席：8 名）

【活動３】ジュサラ椰子 AF 学習会及び AF 啓発セミナー等の実施

【コルデロ・デファリス将軍市立中学校会談】

・VERSTA 小野瀬専務理事から、AF 学習参加生徒のアンケートでは、AF プロジェクトの認知度は 60%と高く、PJ がジュサラ椰子再生に役立つと思うが 90%となっており AF 環境学習の成果である旨発言があった。

・Sergio 校長から、ジュサラ椰子パウミット違法採取で休むことが多いのは 13～14 歳だが、最近は休む生徒が減っており、AF 環境学習の成果である旨発言があった。

・小野瀬専務理事から、アンケートによると、参加生徒の家族による AF 参加意向は 40%である、今後のジュサラ椰子 AF 環境学習を続ける必要がある旨発言があった。

・また、小野瀬専務理事から、AF 環境学習は日本とのオンライン環境教育交換学習に発展させたいので、現在日本側の相手として明治神宮自然塾との提携を検討している旨発言があった。その準備として、同中学校での AF 環境学習の様子をスマホにて映像撮影してほしい旨要請があった。

・Sandra 教諭から、今年のジュサラ椰子 AF 学習会は 10 月 18 日にハッポーザ村モデル圃場にて、11 月 14 日同中学校教室内で実施したい旨コメントがあった。

P40. コルデロ・デファリス将軍市立中学校での会談	P41. コルデロ・デファリス将軍市立中学校講堂内記念写真	P42. コルデロ・デファリス将軍市立中学校校門前記念写真

【活動４】エコツーリズムの導入支援の実施

2. レジストロ市観光審議会

日時：2019 年 8 月 27 日（火）17:00～17:30

場所：レジストロ市観光審議会事務所

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)レジストロ市観光審議会顧問　□Rubens T. Shimizu 氏

3)レジストロ市観光審議会ツーリズム部長　□Maurizia Moura 氏

3)ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　□長井　邦夫氏

4)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

（□出席：5 名）

【レジストロ市観光審議会ツーリズム部長会談】

・Maurizia 部長から、レジストロ市の観光市議会は市と民間観光事業者との提携による事業化を目的として 2015 年に設立され、初代会長が Rubens T. Shimizu 氏であった旨説明があった。

・同部長から、2018 年から日本の JICA 支援を得て、レジストロ市のインフラ整備について、サンパウロ州に予算要求している旨コメントがあった。

・レジストロ市の資料によると、市のイベントしては、7 月すし祭り、8 月盆踊り、11 月灯篭流し、2 月にはカーニバル時いサンパウロ州文化祭と連動した文化祭を行っている。

・Rubens 氏から、最新の動向として、茶園＋AF ルートによるエコツーリズムが行われている。エコツーリズムによる観光客はサンパウロ州人口 2,000 万人×1%＝20 万人（年間）を目標としている旨コメントがあった。

P43. レジストロ市観光審議会事務所にて	P44. レジストロ市の歴史	P45. レジストロ市 BON ODORI イベント

3. カルロス・ボテーリョ州立公園内森林院サンミゲル・アルカンジョ出張所

日時：2019 年 8 月 30 日（金）11:00～11:30

場所：カルロス・ボテーリョ州立公園内森林院サンミゲル・アルカンジョ出張所

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)サンパウロ州環境局森林院サンミゲル・アルカンジョ出張所所長　□Pietoro 氏

3)ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　□長井　邦夫氏

4)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

5)サンパウロ州環境局森林院農業指導者　□Antonio Celso Martius Melto 氏

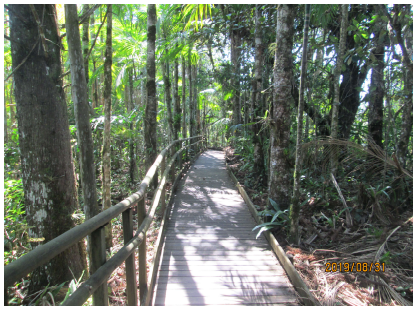
（□出席：5 名）

【森林院サンミゲル・アルカンジョ出張所】

・カルロス・ボテーリョ州立公園内森林院サンミゲル・アルカンジョ出張所はカルロス・ボテーリョ州

立森林公園の出口にあり、出張所内には森林公園内の植生観察コースが設定され、宿泊施設（収容 20 名）も整備されている。

・Pietoro 所長から、VERSTA 事業による宿泊においては、無料宿泊を検討したい旨発言があった。

P46. 同森林公園寄贈者カルロス・ボテーリョ氏銅像前にて	P47. カルロス・ボテーリョ州立森林公園内植生観察コース	P48. 同森林公園内宿泊施設
		

4. サンパウロ州環境局森林院

日時：2019 年 9 月 3 日（火）10:00～11:00

場所：サンパウロ州環境局森林院総裁室

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)森林院総裁　□Luis Alberto Bucci 氏

3)森林院森林資源調査部長　□Miguel Luiz Menezes Freitas 氏

4)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

5)サンパウロ州環境局森林農業指導者　□Antonio Celso Martius Melto 氏

（□出席：5 名）

【森林院 Bucci 総裁会談】

・VERSTA 小野瀬専務理事から、大西洋沿岸林におけるジュサラ椰子 AF 栽培は、サンパウロ州を中心に参加小農家 18 農家 10Ha まで拡大した。また、今年度から大規模農場におけるジュサラ椰子二次林栽培も始まり、ジュサラ椰子栽培面積拡大の見通しがついた旨報告した。さらに、ジュサラ椰子果実付加価値化についても、日本のサプリメント OEM メーカーがジュサラ椰子果実アンチエンジング成分に注目し、日本の大学との共同研究により世界初の抗酸化成分と抗糖化成分を有する果実として臨床試験を行っている旨報告した。

・森林院総裁 Bucci 総裁から、同森林院が大西洋沿岸林植林拡大予算を獲得したので、VERSTA 事業においても使えるように検討したい旨発言があった。

P49. サンパウロ州森林院総裁室での Bucci 総裁との会談風景	P50. サンパウロ州森林院前にて Buuci 総裁と記念写真	P51. 森林院施設内サンパウロ州森林警察事務所

5. サンパウロ州立大学サントス校

日時：2019 年 9 月 3 日（火）15:00～16:00

場所：サンパウロ州立大学サントス校（UNIFESP）

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

3)サンパウロ州環境局森林農業指導者　□Antonio Celso Martius Melto 氏

4)サンパウロ州立大学サントス校大学院栄養食品学科　□Veridiane Vera de Rosso 教授・博士

（□出席：4 名）

【Veridiane V.de.Rosso 教授会談】

・Rosso 教授から、昨年以降、ブラジルの健康食品会社等からジュサラ椰子果実サプリメント製品化等の相談は来ていない旨説明があった。今年、ジュサラ椰子果実のアンチエイジング成分臨床試験結果について学術論文発表をした旨報告があった。

・VERSTA 小野瀬専務理事から、日本のサプリメント OEM 大手企業が日本のある大学と提携し、ジュサラ椰子果実の抗酸化成分＋抗糖化成分の臨床試験に入っている旨報告があった。

P52. サンパウロ州立大学サントス校（UNIFESP）	P53.Veridiane V.Rosso 教授へ VERSTA からの土産贈呈	P54. Veridiane V.Rosso 教授との会談風景

6. TV-Band

日時：2019 年 9 月 3 日（火）12:00～14:30

場所：TV-Band

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

3)TV-Band 社長主席秘書　□Neusa Yukie Kakinoki 氏

4)NHK アメリカ総局サンパウロ支局長　□小宮　智可氏

（□出席：4 名）

【TV-Band 社長主席秘書会談】

・TV-Band 社長主席秘書 Neusa 氏から、本日 14 時の Saad 社長面談は、都合により時間が取れなくなったため、本日夕方の元農務大臣 Roberto Rodriguez 氏との会食会には必ず同席する旨連絡があった。

・Neusa 氏から、São João 農場管理者から、São João 農場二次林ジュサラ椰子種苗栽培は、7 月の寒い時期に行ったため、遅霜のため栽培した種苗がほとんど枯れたとの連絡を受けている旨報告があった。

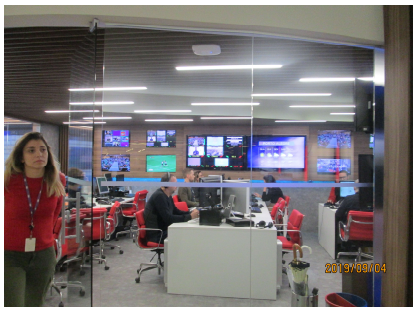
・VERSTA 小野瀬専務理事から、São João 農場二次林ジュサラ椰子モデル圃場調査の結果、アルバイト社員による二次林ジュサラ椰子種苗栽培は、栽培用として空けた穴に種苗が入っていないケース、穴に入れた種苗に土を盛らないケースや枯葉は肥料を入れないケース等が散見されたが、2 割程度は活着していることを確認した旨報告した。

・VERSTA ブラジル代表山添氏から、São João 農場二次林ジュサラ椰子モデル圃場では、ジュサラ椰子種苗の捕植を行い、栽培に当たっては、現場に立ち会って栽培後の状況を確認を徹底し、種苗の活着率の向上を図りたい旨コメントがあった。

【NHK アメリカ総局サンパウロ支局長会談】

・VERSTA 小野瀬専務理事から、ジュサラ椰子 AF 事業の現状について説明があった。特に、今年は TV-Band のプロジェクト会議と現地モデル圃場のニュース収録があり、昨日放映された旨報告があった。

・小宮支局長から、NHK としても取材したいので、イベント等があればニュースリリースしてほしい旨要請があった。

P55. TV-Band 1F 入口風景	P56. TV-Band 1F スタジオ風景	P57. NHK アメリカ総局サンパウロ支局小宮支局長会談後記念写真
		

6. ブラジル元農務大臣氏＆TV-Band Saad 社長との会食

日時：2019 年 9 月 3 日（火）19:00～21:00

場所：新寿司

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏

3)VERSTA 特別顧問　□イシドーロ　山中氏

4)元ブラジル国農務大臣　□Roberto Rodriguez 氏

5)TV-Band 代表取締役社長　□Joao Carlos Saad 氏

6)ブラジル文化福祉協会会長　□Renato Ishikawa 氏

7)ブラジル文化福祉協会コーディネータ　□Nelson Hitoshi Kamitsuji 氏

（□出席：7 名）

【ブラジル元農務大臣氏＆TV-Band Saad 社長会談】

・VERSTA 小野瀬専務理事から、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業の現状について説明した。

・ブラジル元農務大臣氏＆TV-Band Saad 社長から VERSTA からの要望を知りたい旨発言があり、小野瀬専務理事から VERSTA 特別顧問就任を要請した結果、両氏から快諾を得ることが出来た。

P58.元農務大臣 Rodriguez 氏＋TV-Band Saad 社長との会食

B.間接的カウンターパート訪問

１．レジストロ市市長訪問

日時：2019 年 8 月 27 日（火）15:30～16:30

場所：レジストロ市市長室

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長　□長井　邦夫氏

3)VERSTA 名誉顧問	□山添　源二氏
4)セテバラス市観光審議会顧問	□Rubens T. Shimizu 氏
5)サンパウロ州環境局森林院農業指導者	□Antonio Celso Martius Melto 氏
6)レジストロ市市長	□Luis Augusto Vaz de Arruda 氏
7)レジストロ市農業部長	□Adriano Hermes de Sousa 氏
8)レジストロ市農業指導員	□Rogerio Haruo Sakai 氏

（□出席：8 名）

【レジストロ市 Luis 市長会談】

・VERSTA 専務理事小野瀬から、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業の現状について説明した。

・レジストロ市市長 Luis 氏から、レジスト市長に 2 か月前に就任し、レジストロ市は、病院新設、教育・職業訓練において、サンパウロ州組織と連携しながら成果を上げている。市内の工業大学には 1,000 人以上の学生が在籍している。ただし、前市長の汚職問題で市職員の 20%に当たる 250 人が退職したため、その対応に追われている旨発言があった。

P59. レジストロ市市支庁舎風景	P60. レジストロ市 Luis 市長へ VERSTA からの土産贈呈	P61. レジストロ市 Luis 市長会談後記念写真

2. セテバラス市市長訪問

日時：2019 年 8 月 29 日（木）17:00～17:45

場所：セテバラス市市長室

出席者：（凡例：□出席）

【日本側】

1)VERSTA 専務理事	□小野瀬　由一

【ブラジル側】

2)ABJICA 指導員/山本喜誉司賞選考委員会委員長	□長井　邦夫氏
3)VERSTA 名誉顧問	□山添　源二氏
4)サンパウロ州環境局森林院農業指導者	□Antonio Celso Martius Melto 氏
5)セテバラス市市長	□Dean Akves Martina 氏
6)セテバラス市副市長	□Clajdio R. Olivaila 氏

（□出席：その他役職員含む 13 名）

【セテバラス市 Dean 市長との会談】

・VERSTA 小野瀬専務理事から、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業の現状について説明した。特に、セテバラス市立コルデロ・デファリス将軍市立中学校におけるジュサラ椰子 AF 環境学習では、Sergio 校長から、ジュサラ椰子新芽（パルミット）の違法伐採で休む生徒が減るなど、ジュサラ椰子 AF 学習の成果が上がっているとの好評があった旨報告があった。
・また、小野瀬専務理事から、昨年度の会談では、市長からコンピュータ教育に力を入れる旨発言があったので、同中学校には、AF 環境学習会の様子をスマホ映像に残すようお願いしている旨報告があった。
・Dean 市長からは、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業は、かつてセテバラス市の日系移民が導入したお茶＋ジュサラ椰子 AF がアグロツーリズム資源として、重要な位置づけになっている旨報告があった。

P62. セテバラス市 Dean 市長へ VERSTA からの土産贈呈	P63. セテバラス市 Dean 市長夫妻との会談	P64.　レジストロ市役職者と記念写真

3.　ニッケイ新聞

日時：2019 年 9 月 3 日（火）8:30～9:30
場所：ニッケイ新聞応接室
出席者：（凡例：□出席）
【日本側】
　1)VERSTA 専務理事　　□小野瀬　由一
【ブラジル側】
　2)VERSTA 名誉顧問　　□山添　源二氏
　3)ニッケイ新聞編集長　　□深沢　正雪氏
（□出席：3 名）

【ニッケイ新聞編集長取材会談】
・VERSTA 専務理事小野瀬から、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業の現状について説明した。
・ニッケイ新聞編集長深沢氏から、ジュサラ椰子果実利用の現状と今後のアンチエイジング成分利用等について質問があり、小野瀬から日本のサプリメント OEM 企業の臨床試験の状況等について回答した。

C. 日本政府機関等表敬訪問

１．在サンパウロ日本国領事館表敬訪問

日時：2019 年 9 月 2 日（月）10:00～10:30

場所：在サンパウロ日本国領事館総領事室
出席者：（凡例：□出席）
【日本側・ブラジル側】
1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一
2)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏
【在サンパウロ日本国領事館側】
3)在サンパウロ日本国総領事　□野口　泰氏
4)在サンパウロ日本国経済班領事　□上田　基仙氏
5)在サンパウロ日本国経済班副領事　□中野　直樹氏
（□出席：5 名）
【在サンパウロ日本国総領事との会談】
・VERSTA 小野瀬専務理事から、面談機会を作って頂いた御礼を述べると共に、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業の現状について説明した。
・野口総領事から、ブラジル国では政権が変わり、現在アマゾン森林火災が続いていることが世界中の注目を浴びている。その中で、日本国によるブラジルの森林再生・保全活動支援や農業支援は着実に進んでおり、①京都大学＋伊藤忠商事による「アマゾンの生態保全プログラム」、②OISCA による「メルコスール農業後継者育成プロジェクト」、そして③VERSTA＋地球環境基金による「大西洋沿岸林ジュサラ椰子 AF 再生・保全プロジェクト」がある。オールジャパンで森林再生・保全に取組んでいることをアピールしたい旨コメントがあった。

2. JETRO サンパウロ事務所
日時：2019 年 9 月 4 日（水）10:30～11:30
場所：JETRO サンパウロ事務所
出席者：（凡例：□出席）
【日本側・ブラジル側】
1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一
2)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏
【JETRO サンパウロ事務所側】
3)経済調査部部長　□古木　勇生氏
（□出席：3 名）
【JETRO サンパウロ事務所経済調査部長との会談】
・VERSTA 小野瀬専務理事から、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業の現状とジュサラ椰子果実のアンチエイジング成分等について説明した。
・古木部長から、ブラジルの政治・経済概況について、資料に基づき説明があった。それによると、ブラジルは農業では Ag Tech に力を入れている。金融政策としては、中央銀行総裁がドル口座導入を宣言した。ブラジルはペトロブラス等公社が多く政治家の天下り先になっており、民営化が求められている。政治では、ボルソナール新大統領は軍人出身で下院議員を 7 年勤め PSAB 政党を結党した。ブラジルでは政党が多く、現在は 27 政党ある。また、自由化政策により、アマゾン・フリーゾーンのメリッ

トが無くなっている。貿易では、日米貿易摩擦によりアルミ原料等はブラジルが漁夫の利を得ている。しかし、対日本輸出は自動車政策の変更等により▲17.0%となっている等のコメントがあった。
・また、同部長から、元 JETRO 上司の山下幸次郎氏が拓殖大学国際部准教授に就任したので、コンタクトを勧める旨コメントがあった。

P65. JETRO サンパウロ事務所古木部長との記念写真

3. ブラジル日本商工会議所

日時：2019 年 9 月 4 日（水）9:00～10:00
場所：ブラジル日本商工会議所会議室
出席者：（凡例：□出席）
【日本側・ブラジル側】
1)VERSTA 専務理事　□小野瀬　由一
2)VERSTA 名誉顧問　□山添　源二氏
【ブラジル日本商工会議所側】
4)事務局長　□平田　藤義氏
（□出席：3 名）

【ブラジル日本商工会議所事務局長との会談】
・VERSTA 小野瀬専務理事から、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業の現状とジュラ椰子果実のアンチエイジング成分等について説明した。
・平田事務局長から、ブラジルはメルコスル代表国として EU と EPA について交渉し、2019 年 6 月に EPA 締結を行った。また、ブラジルはメルコスル代表国として日本と FTA 交渉しているが、農業問題で遅れている旨コメントがあった。
・同事務局長から、ブラジルは自国農業の強みとして有機農業を位置付けおり、その意味で、VERSTA ジュサラ椰子 AF 事業から産出される果実等は、ブラジル政府が推進しているオーガニック農法による農産物である。また、VERSTA 事業は国連 SDGｓ達成に向けた取り組みでもあり、ブラジルと日本の国際連携プロジェクトとして、同会議所会員企業へアピールする機会を創りたい旨発言があった。
・また、同事務局長から、現在アマゾン森林火災が世界的な注目を浴びているが、アマゾン森林火災の頻度は現在よりも昔が高かった。世界各国の森林保全に対する認識が高まってきたため、アマゾン森林火災に対する注目度が高まってきたといえる旨コメントがあった。

P66. ブラジル日本商工会議所平田事務局長との会談風景	P67. ブラジル日本商工会議所平田事務局長との記念写真

Ⅳ.考察

VERSTA のブラジル国大西洋沿岸林ジュサラ椰子 AF 普及支援による再生・保全活動は、2012 年度開始以来今年度で 8 年目を迎えた。

ジュサラ椰子 AF モデルは、今年度 18 農家 10Ha になり、とりわけ今年度から開始した São João 農場は TV-Band 社長 Joao Carlos Saad 氏が所有する農場で、農場規模は 500Ha でジュサラ椰子二次林栽培は 20Ha 可能であり、ジュサラ椰子栽培モデル圃場の規模拡大は見通しがついてきた。

このため、ジュサラ椰子果実付加価値化の際課題となる果実収穫量の確保については、ハードルをクリアできたと考えられる。

VERSTA のブラジル国大西洋沿岸林ジュサラ椰子 AF 普及支援のための事業活動は、第 1 事業 AF 支援チャリティライブ（AGROFORESTRY AID）事業、第 2 事業 AF 支援音楽配信事業(AF Music Distribution)、第 3 事業 AF 栽培法確立支援事業及びジュサラ椰子 AF 栽培モデル圃場拡大事業、第 4 事業 AF 果実製品化支援事業(高付加価値化支援)により推進してきたが、今後は、第 5 事業 AF 支援 NPO 活動持続化事業への注力が課題と考えられる。

今年度の共同プロジェクト会議派遣を通じて確認した活動状況について、以下で考察する。

【活動 1】令和元年度ジュサラ椰子 AF 共同プロジェクト会議＆技術交流会について

・今年度のプロジェクト会議の出席者は 65 名に達し、目標値（50 名）対比 130%となった。今年度は、カウンターパートのサンパウロ州森林院及びサンパウル州警察、セテバラス市及びレジスト市職員、大学教授をはじめ、地元農家及び他州農家や研究者の参加もあり、VERSTA ジュサラ椰子 AF への関心の拡がりを感じた。

・技術交流会は 2 日に亘ってジュサラ椰子モデル圃場 9 か所において行われ、参加者は延べ 45 名に達し、目標値（40 名）対比 112%となった。

・今年度は、TV-Band の農業チャンネル Terra-Viva によるプロジェクト会議とジュサラ椰子モデル圃場の収録及びインタビューが行われ、VERSTA ジュサラ椰子 AF によるブラジル国大西洋沿岸林再生・保全支援活動がブラジル全国に放送された。

【活動 2】ジュサラ椰子 AF モデル圃場の拡大設置とフォローアップ指導について

・VERSTA ジュラ椰子 AF モデル圃場は、今年度 18 農家 10Ha に拡大した。今年度から、大農場における

ジュサラ椰子二次林栽培が始まり、今後、ジュサラ椰子 AF＆二次林栽培の面積拡大の見通しがついたため、ブラジル国大西洋沿岸林再生・保全活動の進展が期待できる。
・フォローアップ指導は 10 月から 2020 年 2 月まで行われるため、AF 指導者であるレジストロ市 SENAR コンサルタント Mario Terashima 氏に協力を依頼した。

【活動 3】ジュサラ椰子 AF 環境学習会及び AF 啓発セミナー等について
・ジュサラ椰子 AF 環境学習会は、コルデロ・デファリス将軍市立中学校において、年 2 回（教室内学習会 1 回＋モデル圃場におけるフィールドワーク 1 回）実施されている。
・Sergio 校長によると、参加生徒は、父親と一緒にジュサラ椰子新芽（パウミット）違法伐採に出掛けている者に出席させている。出席生徒数は延べ 69 名（2018 年実績では教室内 30 名＋フィールドワーク 39 名）に達している。また、ジュラ椰子環境学習会は効果的で、アンケートによると、参加生徒は父親と一緒にジュサラ椰子違法伐採には行きたくないと答えるものが増えてきたことを確認できた。
・今年度の同校におけるジュサラ椰子 AF 環境学習会は、10 月 18 日（金）及び 11 月 14 日（木）に開催することを確認した。
・また、今後の啓発活動としては、森林院主催フルーツセミナーへの出展（10 月）、ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーの開催（2 月）を計画していることを確認した。

【活動 4】エコツーリズムの導入支援について
・レジストロ市観光審議会によると、レジストロ市と民間観光会社の提携により、茶園＋ジュサラ椰子 AF 等をメインとしたエコツーリズムが 2081 年から実施され、今年も 9 月に計画されている。
・VERSTA では、2017 年度以降、ジュサラ椰子 AF モデル圃場農家経営の持続化を図るためにはエコツーリズムの実現が有効との仮説のもと、日本の旅行会社へのエコツーリズムツアー検討依頼、エコツーリズム資源調査、パイロット・エコツーリズム調査等を実施した。その結果、エコツーリズムの実現には、州・市を巻き込んだインフラ整備の推進や農協との連携によるジュサラ椰子 AF モデル圃場農家によるツーリズム向け土産産品開発が重要であることを指摘した。
・レジストロ市観光審議会が推進している茶園＋ジュサラ椰子 AF モデル圃場をメインとしたエコツーリズムの実現には VERSTA ジュサラ椰子 AF 普及支援活動が貢献しており、今後、レジストロ市のエコツーリズムと連動した VERSTA エコツーリズム支援活動の検討が必要であろう。

以上